



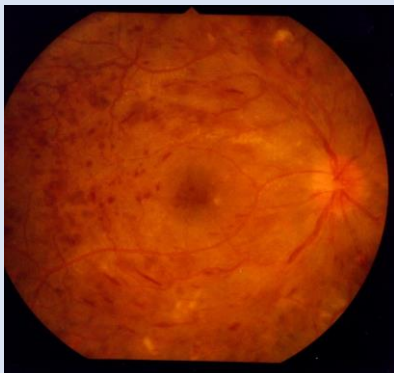
網膜静脈閉塞症

網膜静脈閉塞症は、網膜の静脈が詰まることで、網膜に十分な酸素や栄養が供給されなくなり、**視力が低下**したり、**中心が見えにくくなったり、物がゆがんで見える**といった症状が現れることもあります。

高血圧や**糖尿病**などの生活習慣病が原因となることが多く、早期発見と治療が大切です。

治療は、まず血圧や血糖値のコントロールなどの内科的な治療をしっかりと行いながら、同時に抗VEGF抗体注射やレーザー治療などの眼科的な治療を行うことで、視機能の回復を目指します。抗VEGF抗体注射は、新しい血管の生成を抑え、視力低下を食い止める効果が期待できます。

もし、視界がぼやける、黒いものが浮かぶなどの症状が出たら、早めにご相談ください。



* 眼底出血と浮腫がみられる

火曜日の診療について

長らく、前院長も外来を続けてまいりましたが、この度82歳を迎え、**3月末**をもちまして、**定期的な外来診療を引退**することとなりました。

4月以降は、院長が火曜日も診療を担当いたします。今後も、前院長が代診などで臨時に診療を行うことはございますので、完全に診療を引退するわけではありませんが、長らく前院長の診療日にご来院いただいていた皆様には、ご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、ご理解いただけますと幸いです。皆様には、これからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年のまとめ

昨年は、延べ**9500人**の方にご来院いただき、誠にありがとうございました。新規の方は1490人の方がお越しになり、当院を初めてご利用くださいました。乳幼児からご高齢の方まで、皆さまに安心して受診していただいていることを嬉しく思います。今後も、関連病院と連携し、診療を継続してまいります。